

広沢小だより 11月臨時号



令和3年11月12日
京都市立広沢小学校

令和3年度

「全国学力・学習状況調査」「前期学校評価アンケート」結果のご報告

5月27日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」と、7月に児童・保護者・教職員対象で実施した「学校評価アンケート」についての結果がまとめました。2つの結果と、10月12日に開催しました「学校運営協議会」でいただいたご意見とあわせて、ご報告させていただきます。

全国学力・学習状況調査結果

5月27日に、本校6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。本調査では、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う質問紙調査も実施されました。



国語科より

国語科は、全国平均正答率を上回る結果でした。

【成果】

「読むこと」の領域で、京都府平均を大きく上回る結果となり、特に、「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」という問題がよくできていました。

【課題】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国平均を下回る結果でした。

- ・「漢字を文中で正しく使う(つみ重ね)(げんいん)」
- ・「文における主語と述語の関係を捉える」
- ・「文における修飾と被修飾の関係を捉える」

また、「書くこと」の領域である「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」も、京都府平均を下回る結果となりました。

算数科より

算数科も、全国平均正答率を上回る結果でした。

【成果】

「図形」「変化と関係」領域では、全国・京都府・京都市それぞれの平均を上回りました。「図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる」「速さを求める除数の式と商の意味を理解している」という問題がよくできていました。

【課題】

「データの活用」「測定」領域においては、全国平均を下回る結果でした。特に記述式である以下の問題では、無解答の割合が高めでした。

- ・「帶グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く」
- ・「30mを1としたときに、12mが0.4に当たるわけを書く。」

児童質問紙調査から

【よかった点】

- ・毎日同じくらいの時刻に起きている。(94.6%)
- ・人が困っているときは、進んで助けている。(90.9%)
- ・いじめは、どんな理由があってもいいことだと思う。(100%)
- ・人の役に立つ人になりたいと思う。(98.2%)
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。(90.9%)
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている(98.2%)
- ・国語の勉強の内容はよく分かる。(90.9%)



【課題】

- ・平日に学校の授業以外で読書を10分以上する。(69.1%)
- ・国語の勉強が好き(60%)
- ・算数の勉強が好き(41.8%)

- ・国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする。(58.2%)
- ・5年生までの授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する。(56.3%)
- ・自分にはよいところがある。(65.4%)
- ・難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。(78.1%)
- ・普段1日に1時間以上テレビゲームをする。(83.7%)
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。(50.9%)
- ・新型コロナ感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。(58.2%)
- ・新型コロナ感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。(54.6%)



前期学校評価アンケート結果

7月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童は学習用コンピュータを活用して回答しました。保護者の皆様には、例年通りアンケート用紙を配付し、実施しました。回答率96.9%と、たくさんの貴重なご意見をいただきました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

学校評価アンケート集計結果

	児童	保護者
児童は、学校生活を楽しいと感じている	93.9%	95.5%
児童は、進んで学習に取り組む	95.4%	81.3%
児童は、テスト等の間違い直しをする	95.6%	70.7%
児童は、自分で学習準備ができる	97.1%	85.1%
児童は、学校の勉強がわかる	95.9%	82.3%
児童は、思いや考えをノート等に書いている	92.8%	75.9%
児童は、自分の考えをしっかりと話している	83.7%	78.6%
児童は、人の話をよく聞いている	96.8%	83.5%
児童は、学習用コンピュータを使って学習することを楽しんでいる	97.4%	95.1%
児童は、進んで読書をしている	87.5%	61.4%
児童は、進んで家庭学習(宿題)に取り組む	95.1%	73.6%
児童は、宿題以外の学習に取り組む	78.8%	56.4%
児童は、約束やルールを守って行動できる	97.4%	91.9%
児童は、思いやりのある言葉を使っている	90.1%	86.3%
児童は、自分から挨拶をしている	86.7%	70.8%
児童は、失敗をおそれずに最後まで挑戦している	92.7%	68.3%
児童は、いじめ・仲間はずれをしないように行動できている	96.8%	98.0%
児童は、ゲームやテレビの時間を決め、早寝・早起きをし、時間を考えて生活している	84.0%	60.5%
児童は、進んで外遊びをしている	81.7%	70.0%
児童は、食べ物の好き嫌いはない	88.3%	70.7%
児童は、「つま先立ち」をがんばっている	97.4%	
感染症対策(マスク・手洗い・3密をさける等)をきちんとしている	94.1%	96.7%
学校だより等や、HPで学校の様子がよくわかる	95.6%	89.9%
学校は、地域の特色や人材を生かした取組を行っている		83.1%
児童は、夢や希望をもって活動している	92.5%	80.8%
京都嵯峨学園の名称を、保護者や地域の方は知っている		72.9%
京都嵯峨学園の教育活動の情報提供ができる		67.9%
小中が連携して教育活動を取り組んでいる		68.8%

①「学校生活が楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」「学校の勉強が分かる」と回答している児童・保護者とも多い。

②「テスト等の間違い直しをする」
③「思いや考えをノート等に書いている」は、児童は高いが、保護者は70%台にとどまっている。

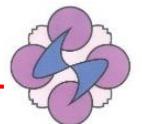
④「学習用コンピュータを使っての学習は楽しい」と回答している児童・保護者が多い。

⑤昨年度よりは「読書をしている」と回答している児童・保護者が増えているが、保護者は60%台である。

⑥「失敗をおそれずに最後まで挑戦している」と回答している児童は多いが、保護者は60%台である。

⑦「時間を考えて生活している」「進んで外遊びをしている」「好き嫌いなく食事をしている」と回答している児童・保護者が少ない。

⑧「京都嵯峨学園の名称を知っている」「京都嵯峨学園の教育活動の情報提供ができる」「小中が連携して教育活動を取り組んでいる」と回答している保護者が少ない。



「学力・学習状況調査」「学校評価アンケート」から見えてきた本校の成果と課題

本校では、「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子～何事にもしなやかで折れない心（レジリエンス）の育成～」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となって取組を進めています。

学校評価①で、多くの児童・保護者が「学校は楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」「学校の勉強がわかる」と回答していることは、その成果の表れているのではないかと思います。しかし一方で、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答している児童・保護者がいることに目を向けなければならないと考えています。これらの項目は、以下の様々な項目とかかわりがあると思われますので、以下の分析を丁寧に行い、それを今後の教育活動にいかし、児童全員が「学校が楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」「勉強がわかる」と思える学校づくりに取り組んでいきたいと思います。

確かな学力の育成に向けて

Q：テストやプリントの間違い直しをやりぬいていますか？

間違い直しを確実にして課題をやり切り、学力の定着を図ります。

学校評価②より、学校では間違い直しをしていると思っていても、家に持ち帰っているテストやプリントで直しができていないものがあるようです。今一度、児童の学習の状況を丁寧に確認していきます。そのことが、学力状況調査で課題としてあげられる「漢字」「文法」「計算」といった基礎・基本や既習事項の定着を図ることにつながると考えます。

「学校運営協議会」でも、「勉強が分からなければ、勉強が楽しい、学校が楽しいとは感じられない。学習が分かるようになる取組を進めてほしい」「子どもが途中まで分かっていることを認めるようにしてほしい」「苦手なところ、習得できていないところを保護者にも発信して、協力して力をつけていくべきだと思う」というご意見をいただきました。学校では「学びタイム」や、毎週火曜日の「パワーアップデー」の時間を使って、課題をやりきり、わかるまで支援できるようにしていきます。これからも、保護者の皆様にもご協力をいただいて、さらに子ども達に力をつけていきたいと思います。

Q：自分の考えや思いを進んでノートやプリントに書いていますか？

自分の思いや考えをまとめて、書く力を伸ばします。

学校評価③では、「ノート検定」の取組等のノート指導を大切に取り組んできた成果が、児童の回答に反映していると思われます。けれども、保護者の回答では、自分の思いを書く作文や、なぜそう思うか理由を説明することが苦手だと思われている保護者が多いのではないかと思います。

学力状況調査でも、「書くこと」に課題が見されました。筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて書き表し方を工夫したりしながら、自分の考えを主張する文章を書くことが求められています。「書く」力は、一朝一夕に身につくものではありません。実際に文章を書く活動をなるべく多く取り入れ、「書くこと」の基礎的・基本的な知識・技能が身につけられるよう指導していきたいと思います。

学習用コンピュータ学習での有効活用をめざします。

Q：学習用コンピュータを使って学習することは楽しいですか？

学校評価④では、今年度よりGIGAスクール構想で学習用コンピュータを使い始めましたが、すぐに使い方を覚え、楽しんで取り組んでいることがうかがえます。けれども、学習用コンピュータは、学習に役立つ活用することが求められています。それには、まだ、教職員が研修を積み、有効的な活用を目指していく必要があります。「コンピュータを使うと、学習がよく分かった」と思えるようにしていきたいと思います。

Q：進んで読書をしていますか？

読書習慣が身につくようにします。

学校評価⑤でも、学力状況調査でも、読書は課題としてあげられます。読書をすることで、読み解力が身に付き、語彙数も増え、「書く力」もできます。これまで、「読書ノート」を活用して、「読書100冊」をめざして取組を行ってきました。今後、さらに児童が進んで読書を楽しもうとする取組を増やし、読書習慣をつけていきたいと思います。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

豊かな心の育成に向けて

Q：難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか？

自己肯定感・自己効力感・自己有用感がもてる取組を大切にしていきます。

学校評価⑥「難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦する」は、本校の学校教育目標「～何事にもしなやかで折れない心（レジリエンス）の育成～」にかかる項目です。日々の学習や生活の中でも粘り強く努力する児童の姿は見られますが、やはり学校行事の中でこそつけられる力もあります。コロナ禍で学校行事が減っている状況で、児童が「やりぬいた」と感じられる体験が減っているのではないかと感じます。今年度は運動会や学習発表会、山の家宿泊学習等を実施することができ、普段とは違う児童のがんばりが見られました。いろいろな場面で児童があきらめずに最後まで挑戦できるように、今後も自己肯定感（自分のよいところを見つける）・自己効力感（自分ががんばったことを誇りに思える）・自己有用感（自分が人の役に立っている）がもてる取組を大切にしていきます。



確かな学力の育成に向けて

Q：テストやプリントの間違い直しをやりぬいていますか？

間違い直しを確実にして課題をやり切り、学力の定着を図ります。

学校評価②より、学校では間違い直しをしていると思っていても、家に持ち帰っているテストやプリントで直しができていないものがあるようです。今一度、児童の学習の状況を丁寧に確認していきます。そのことが、学力状況調査で課題としてあげられる「漢字」「文法」「計算」といった基礎・基本や既習事項の定着を図ることにつながると考えます。

「学校運営協議会」でも、「勉強が分からなければ、勉強が楽しい、学校が楽しいとは感じられない。学習が分かるようになる取組を進めてほしい」「子どもが途中まで分かっていることを認めるようにしてほしい」「苦手なところ、習得できていないところを保護者にも発信して、協力して力をつけていくべきだと思う」というご意見をいただきました。学校では「学びタイム」や、毎週火曜日の「パワーアップデー」の時間を使って、課題をやりきり、わかるまで支援できるようにしていきます。これからも、保護者の皆様にもご協力をいただいて、さらに子ども達に力をつけていきたいと思います。

Q：自分の考えや思いを進んでノートやプリントに書いていますか？

自分の思いや考えをまとめて、書く力を伸ばします。

学校評価③では、「ノート検定」の取組等のノート指導を大切に取り組んできた成果が、児童の回答に反映していると思われます。けれども、保護者の回答では、自分の思いを書く作文や、なぜそう思うか理由を説明することが苦手だと思われている保護者が多いのではないかと思います。

学力状況調査でも、「書くこと」に課題が見されました。筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて書き表し方を工夫したりしながら、自分の考えを主張する文章を書くことが求められています。「書く」力は、一朝一夕に身につくものではありません。実際に文章を書く活動をなるべく多く取り入れ、「書くこと」の基礎的・基本的な知識・技能が身につけられるよう指導していきたいと思います。

学習用コンピュータ学習での有効活用をめざします。

Q：学習用コンピュータを使って学習することは楽しいですか？

学校評価④では、今年度よりGIGAスクール構想で学習用コンピュータを使い始めましたが、すぐに使い方を覚え、楽しんで取り組んでいることがうかがえます。けれども、学習用コンピュータは、学習に役立つ活用することが求められています。それには、まだ、教職員が研修を積み、有効的な活用を目指していく必要があります。「コンピュータを使うと、学習がよく分かった」と思えるようにしていきたいと思います。

Q：進んで読書をしていますか？

読書習慣が身につくようにします。

学校評価⑤でも、学力状況調査でも、読書は課題としてあげられます。読書をすることで、読み解力が身に付き、語彙数も増え、「書く力」もできます。これまで、「読書ノート」を活用して、「読書100冊」をめざして取組を行ってきました。今後、さらに児童が進んで読書を楽しもうとする取組を増やし、読書習慣をつけていきたいと思います。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

健やかな体の育成に向けて

ご家庭と協力してゲーム・テレビの時間の見直しに取り組んでいきます。

Q：ゲームやテレビの時間を決めて、早寝・早起きをし、時間を意識して生活していますか？

Q：進んで外遊びをしていますか？ Q：好き嫌いなく食事をしていますか？

本校では、毎月「すこやか週間」を設定し、「安全学習」「食の学習」「体つくり学習」「保健指導」を行っています。栄養教諭による「食の指導」も年に2回あります。また、今年度は、「ロング昼休み」を設定し、遊ぶ時間を確保するようにしました。そんな中で児童は、「好き嫌いをせずにバランスよく食べること」「外で体を動かすこと」の大切さを理解し、意識して取り組もうとする姿が見られます。



しかし、学力状況調査の質問紙調査や、夏休み明けに実施した「すこやか生活調べ」の結果を見ると、本校児童のゲーム等の時間が長いという実態が明らかになりました。また、本校の「新体力テスト」の結果を見ると、「シャトルラン（持久力）」「ソフトボール投げ」の平均が他校と比べて低いことが分かりました。これらの力は、体育の学習の中だけではなく、つけられるものではなく、遊びの中でも培われていくと思います。これには、コロナ禍で友達と自由に遊べない、家に帰ってから子どもたちが友達と遊べる公園が校区内に少ないため体を動かす機会が減っている等が影響していて、ゲーム等の時間が増えているのではないかと思います。

ゲーム等の時間が長いと、寝る時間が遅くなり、睡眠時間が短くなります。また、目や頭が疲れてしまい、眠りの質が悪くなることもあるようです。そうすると、学校でしんどくなったり、眠くなったりして学習に集中できない状況に陥ります。

学校運営協議会でもこれらのことと本校の課題として話し合い、「ご家庭にも協力していただき、ゲーム・テレビの時間についてご家庭で約束等を決めて、生活の見直しをしていく必要がある」というご意見をいただきました。学校でも、生活の見直しをする学習に取り組んでいます。学習したことをご家庭にも発信し、学校と家庭で連携を図っていきたいと思います。



その他

保護者・地域の皆様に、取組を発信していきます。

Q：京都嵯峨学園の名称を知っていますか？

Q：京都嵯峨学園の教育活動の情報提供ができますか？

Q：小中が連携して教育活動を取り組んでいると思いますか？

学校評価⑧の結果を見ると、昨年度よりも少しプラスの評価が高くなっていますが、まだ十分であるとは言えない状況です。コロナ禍で取組が十分にできていないこともあります。取り組んでいることは積極的にお便りやホームページで、保護者・地域の皆様に発信していく必要性を感じました。



先日も、京都嵯峨学園で「授業研修会」を行いました。嵯峨中・嵯峨小・嵐山小の先生方と、それぞれの学校の授業公開を行い、小中・小小の連携を図りました。また、教室のユニバーサルデザインを考え、4校で教室の様子を揃えるようにしています。6年生が取り組んでいる「Sノート」も京都嵯峨学園としての取組です。このような取組について、ぜひ保護者の皆様に知っていただき、中学へスムーズに進学できるように協力して取り組んでいきたいと思っています。